

あとがき

山梨県総合教育センター
副所長 跡部 和男

各学校及び各教育機関におかれましては、日ごろから本センターの諸事業に対し、多大なる御支援と御協力を賜り、誠に有り難うございます。併せて、本センターの研究推進に当たり御協力、御指導くださいました研究協力校、研究協力員、山梨大学、山梨県教育庁の関係各位に厚く御礼申し上げます。

去る平成 29 年 2 月 23 日に開催しました研究大会には、県内各地から約 300 名の皆様に御参加いただきました。今年度は、これまでの研究発表大会とやや趣を変え、「実践交流ラウンドテーブル 2017」と銘打ち、『やまなし 学びの未来』をテーマとして、基調提案、特別講演、ラウンドテーブルを柱に開催いたしました。特別講演においては、講師に白梅学園大学教授の無藤 隆先生をお迎えし、「次期学習指導要領の改訂の考え方」の演題にて御講演いただきました。折しも直前の 12 月には、中教審から 2020 年度から順次全面实施する次期学習指導要領の改訂案が答申されており、中教審教育課程部会長を務められている同氏から直接、ポイントを押さえて分かりやすい解説をしていただきましたので、参加者にとりましては今回の改訂の趣旨を理解する絶好の機会になったことと思います。また、ラウンドテーブルにおいては、各グループの参加者が校種や教科の枠を超えて、各々の教育実践を紹介しあったり、悩みや考え方などを語りあったりしました。テーマに照らして交わされた様々な意見や考え方を通して交流が深まり、情報の共有をはじめ、教育に対する思いが広がるなど多くの成果を収めて無事終了することができました。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

さて、本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」の使命を果たすため、研修、研究、相談等の業務を中心に、学校教育の振興と充実のために力を注いでいるところです。このような中、昨年 4 月には、「山梨県教育委員会事務局及び山梨県教育委員会の所管に属する教育機関の職員の職の設置に関する規則」の一部改正に伴い、本センターに配置されていた研修主事が指導主事へと職名変更され、学校への支援・指導体制の強化が図られました。小、中、高、合わせて 28 名の指導主事が、従来の業務に加えて、学校訪問等を通じ、学校教育に関わる専門的指導に従事しましたが、研究に関しては、本年度の全体テーマである「学校教育を支援する実践的研究」のもと、県が実施する各種学力調査の分析と授業改善プランの作成等を行うプロジェクト研究や、昨今の教育課題を含む教科指導や教育相談、特別支援教育における改善や指導の充実に関わる主事研究に取り組んで参りました。いずれも、本県の先生方や学校への支援、教育課題への解決に結びつく実践的研究になること、また、指導主事としての資質や能力の向上に結びつく研究になることを目指したものです。各研究内容は先に紹介したラウンドテーブルの冒頭、参加者交流の足がかりとして、短時間ではありましたがテーブル毎に紹介させていただきました。もう少し時間をかけて、より多くの研究発表を聞きたかった、との御意見も頂戴いただきましたが、皆様方には、改めて本研究紀要に収録されました研究成果に是非、目を通していただくとともに、一人でも多くの方々に本センターの研究について御周知いただけましたら大変有り難く存じます。

本紀要は、各教育機関への CD 配布とともに教育センターホームページへ掲載されます。掲載された研究報告が各学校等における教育活動や校内研究、また研修充実のための一助になれば幸いです。今後とも皆様方の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。